

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(1)保育所

日時 8月25日(土) 午前10時から正午まで

場所 市民交流プラザルーム 610

テーマ1「地域での子育て支援について」

●こども未来部長

近年、厚木市においても、共働き世帯や核家族世帯が増え、皆さんのお仕事が忙しいこともあり、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったように感じています。

こういったことを背景に、厚木市では県内で初めて「子ども育成条例」を策定しました。その理念は、「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」というものです。地域では、青少年健全育成関係団体の皆さんや自治会の方々、愛の目運動の皆さんなど、たくさんの方が様々な方法で子育て世帯を見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、保護者にとっても地域に溶け込み、いざというときに助け合えるなどプラスになると言われています。ぜひ地域の方々とのつながりを持っていただきたいと思いますのですが、なかなかつながりが持ちにくいという声もお聴きしています。

そこで、本日お聴きしたいこととして、1つ目は、皆様が地域の方々とのようなつながりを持っているのか、2つ目は、つながりが持てない理由をお聴きしたいと考えています。具体的には、地域の自治会や子ども会行事に参加しているのか、参加できない理由があれば、それを取り払い、地域に溶け込んでほしいと思っています。

●厚木市で生まれ育ちました。実家の近くにアパートを借りて住んでいます。ずっと同じ小学校区内に住んでいるので、知り合いが多いです。しかし、アパートに引っ越してきたとき、自治会の案内が全くなくて驚きました。また、アパート内では住人同士のあいさつがありません。小さい頃、知らない人とはあいさつをしてはいけない、など、不審者対策の教えがあったこともあり、賃貸物件が集まっているところでは、どういった人を信頼して良いのか分かりづらく、つながりが持ちづらいです。近所の方から案内がないと、地域の行事すら分らないです。外から引っ越してきた人は行事があることを知らないことがあるようです。

●こども未来部長

子どものころから地域行事に参加されているのですね。

●参加していました。アパートには回覧板がありませんが、近所の方が教えてくれることもあり、今も参加しています。自治会加入の案内や手順があれば入りたいのですが、全く情報がありません。アパートの人はあいさつがないので、少し寂しいです。

●こども未来部長

近所などに同じ子育て世帯があれば、皆さんからも是非声を掛けてほしいです。

●役員をさせてもらっており、ママ友とのコミュニケーションをとるようにしています。

●住宅街に住んでいます。御近所トラブルを避けるため、近所とコミュニケーションをとらない方が良く考えていました。近所では私たちが最後に引っ越してきて、すでにグループができていたのですが、すぐに打ち解けることができたので良かったです。皆さんと一緒に近所のお祭りや行事にも参加していますし、保育所以外のコミュニティに参加することが良いことと感じてい

ます。

●こども未来部長

近所で年齢が近い友達ができると、同じ小学校になったりして心強いですね。

●賃貸マンションに住んでおり、住民に会えばあいさつはしますが、あいさつ止まりです。賃貸のためか、自治会などの案内は全くありません。市の広報紙や子育て支援センターに来たときに情報を収集しています。近所のお祭りの情報はないので、おみこしの音を聞いてお祭りをやっているな、と気づきます。自治会や地域の行事に参加したくても、どこの誰に話を聞けばいいのか分からないです。

●こども未来部長

児童館は利用されていますか。

●児童館には行きません。子育て支援センターが近くて便利なのでよく利用しています。児童館は敷居が高く感じます。

●こども未来部長

子育て支援センターには厚木市の全地区からいらっしゃるので、特定の地域の行事だけをお知らせすることは難しいかもしれません。地域の施設に掲示はできるので、子育て支援センターまで来られない方は、地元の児童館に行ってくださいこともお勧めしたいです。児童館には指導員がいますし、移動子育てサロンも実施しています。児童館には地域の案内が充実しています。

●子どもが小さい時から子育て支援センターを利用しており、家庭、保育園、子育て支援センターを往来しています。それ以外でプラスして地域の行事には行けない状況です。住んでいる地域の小学校には登校班がなく、一緒に学校へ通う子どもを探すことが大変です。

●こども未来部長

児童館は、小学校区内に1館から2館ある状況で、地域の子育て拠点という存在でもあります。教育委員会では、就学前に説明会を開催していますが、児童館では、小学入学前子どもたちを対象に、学校の様子を教えてくれたり、地域のお兄さん、お姉さんを知るイベントも開催しています。地域の様々な情報も入ってくるがあります。

●児童館も折りを見て行ってみたいです。児童館では、どのようなことをしているのか、情報発信をしてほしいです。

●こども未来部長

冊子「おおきな一れ」やホームページでは、市の子育て支援サービスが分かるように情報発信をしています。また、分野別に分かりやすいサイトも作成していますので御覧いただきたいと思えます。情報は、ぜひ取りに行ってくださいです。

●生まれも育ちも厚木市です。アパートに住んでいたときは、回覧板が回ってこなかったため、地域の情報が分からなかったです。花火が上がると、お祭りがあるんだな、と思いながら過ごしていました。別の地区に引っ越して、自治会加入の声掛けがありましたが、自治会活動について質問をすると、災害時の備蓄、とそれだけでした。自治会の方は、こちらが加入する前提で声掛けをしてきましたが、メリットがそれだけなら入らなくても良いのではと思ひ、そのままです。近所の方とはあいさつをしますし、何かあれば連絡もとりますが、地域とのつながりはありません。子どもが小学校に入ったら考えようと思っています。仕事と保育所、家のことで手一杯で、自治会の仕事は引き受けられません。保育所に子どもを預けている、ということは親が働いていることが前提です。小学生からだと思ひますが、子ども会には入りたいと考えています。

●こども未来部長

メリット、デメリットを御承知の上で、検討をされているということですね。

●土・日曜日は家事で手一杯ですし、子どもとの時間も作りたくと思っています。自治会行事よりも、家族と過ごすことを優先しがちです。賃貸物件や駅前に住んでいたこともありますが、引っ越したとたんに自治会加入の声掛けの方が来て困惑しました。今住んでいるところは、そこにずっと住んでいる方と新しく転入してきた方が混在しているので、自治会に加入して様子を伺っていました。地域の運動会があったはずですが、回覧板をゆっくり見る時間もなく、地域で何をやっているのか分からない状態です。児童館のお知らせが来ても、イベントが平日にあると関係ないと思い読んでいません。今年、自治会の役員を隣近所で順番にやってほしいと言われたのですが、小さい子どもがいる家庭ばかりで、話し合いをして決めました。夫が近くで働いていたので、私に負担が掛からないように協力をしてくれています。自治会のメインの人は定年した人で、こちらは夜まで仕事をしているのですが、チラシ配りなどの仕事を任せられます。夫が朝6時にチラシを配ってくれました。役員をやることで地域の行事を知ることができますが、子どもが小学校に入れば、子どもが情報を持ってきて、親がそれを詳しく調べるというサイクルになるのではと思っています。

●こども未来部長

私も働きながら子どもを育てましたので、お気持ちはすごく分かります。自治会活動を目一杯やってほしい、ということではなく、年に1、2回でも良いので参加してもらえるようにするにはどうしたら良いのかという気持ちで、話をお伺いしています。

●ずっと厚木市に住んでいます。自治会の役員は年配の方がやってくれていて、回覧板も回ってきますが見ていません。現状は地域と関わっていないです。ファミリーサポートセンターにお世話になっていて、下の子を産んだ際に、上の子の送り迎えをお願いしていました。何かあるときに頼める、ファミリーサポートセンターの存在はありがたいです。私の勤務時間は朝早く、子どもが小学校に上がると、子どもよりも早く家を出ることになります。少しの間だけ、子どもを預ける場合は、近所の方には頼みづらいです。家の周りで、ファミリーサポートセンターという名札を付けている家がありましたが、センターの会員がどこにいるのか分かりますと助かります。また、放課後児童クラブに入れることを考えているのですが、できれば午後7時まで預けられると良いなと思います。地域とつながりを持たない理由としては、忙しいからです。仕事から帰ってきて、公園で遊ばせてあげたいと思うのですが、家の近くの公園で夜8時頃まで遊んでいる子どももいて、それもどうかと。時間が合わず、つながりが持てません。移動子育てサロンも平日の午前10時ですと参加は無理です。夫は土・日曜日にも仕事があつて頼れないので、土・日曜日の過ごし方を考えます。どこに行くのか広報紙を読みますが、行けるような行事がないですし、あまり魅力的ではありません。ほとんど海老名市に行っています。ずっと厚木市に住んでいて厚木市が好きなので、厚木市ももっとかンばっていただきたいと思います。子どもを気軽に連れて行ける所がありません。子ども2人を連れて行くには、公共施設は駐車場がありません。子育て支援センターも駐車場がありません。お金を掛けずに遊べる場所を探します。n o m a というWEBマガジンでは金曜日にイベントが公開されますが、厚木市で行ってみたいと思うような情報はありません。情報発信するのなら、本を手に入れるということは手間なので、ネットと提携しお母さん方が何を見ているのかを意識し、そういったところから発信をしてはどうでしょうか。市のホームページも見ますが、あまり更新されている様子もないですし、地域の細かい情報は載ってい

ないので、「厚木時間」などで地域の情報も載せたらどうでしょうか。

●マンションに住んでいますが、お年寄りが多い所です。バーベキューなどに連れて行ってくれたりと交流はあります。新しい人が引っ越してきますが、交流できているのはお年寄りの方たちです。公民館などもおばあちゃんが場所を教えてくださいましたが、回覧板はなく、自治会の案内はありません。教えてくれなかったら分からなかったです。夫の転勤が多く、地域によっては自治会費が家賃に入っていて、行事があると案内が必ず入ってくる所もありました。海老名市に住んでいたときは、自治会には入っていませんでしたが、近くの公民館の祭りなど、近所の方がチラシを配ってくれていたのに参加していました。

●こども未来部長

チラシがあると分かりやすいですね。

●お祭りとか貼り紙があれば見て行けるかなと思います。

●上の子は小学生、下の子は年長です。上の子を育てていたときは、仕事を辞めていたので、子どもとどう接すれば良いのか、公民館や子育て支援センターでお世話になりました。勤めだしてからは時間がなく、行けなくなりました。保育所に子どもを入れることに苦戦しました。上の子は幼稚園だったこともあり、両方経験していますが、保育所に子どもを預ける親は時間に余裕がありません。ただ、土・日曜日は家庭で楽しんでいるので、今回の「地域での子育て支援」というテーマは、幼稚園のお母さん向けだと思います。幼稚園と保育所に通っている家庭では、ライフスタイルは異なります。子どもが小学生になると学校から週末のイベントが載っているプリントをもらってきます。行けそうなら行きますし、子ども同士で行くこともあるので、心配ないと思っています。自治会がどのように地域で割り振られているかが分かりません。子ども会も地域によって実情が違います。現在住んでいる地域では、子ども会のお誘いがありませんでした。その後、隣の地域の方からお誘いをいただき、そちらの子ども会に参加させていただいています。住んでいる自治会の区域や子ども会の有無などが分かれば良いのですが、自治会のお誘いがいきなり来ても全体が分からないので、詳細な情報が分かれば入りやすいです。分からないままだと、忙しいからいいや、となってしまう。

●こども未来部長

私も子育てをしながら、仕事をしていましたので、地域の行事にはほとんど参加できなかったです。休みの日は家族のつながりを深めるため、家族だけの行動も大事だと思っています。しかし、いざというとき、例えば災害時などは、地域の中で一人きりでは生活できないと思います。皆さんが仕事をしている間、子どもに何かあったときどうするのか。仕事を休むことができても、帰るまでの時間、子どもを誰に見てもらうのか。やはり地域しかないと思います。何かが起こった際、子どもがどうなるのか分からない、ということは心配です。これまでも、災害時に保護者が保育所に迎えに来ることができないことがありましたが、近所の方が連れて帰ってくれたこともありました。また、子どもが公園で遊んでいて、保護者とはぐれてしまった際、顔見知りの地域の方が保護者の元に案内してくれたという話もあります。地域とのつながりを持つということは、防犯・防災上からも有効だと思います。また、子どもの成長のためには、家庭と保育所との往復だけではなく、いろいろな世代の方と会って、親とは違う人に怒られたり、褒められたりすることが子どもの成長の糧になります。

●実際、平日の朝から晩まで保育所に子どもをずっと預けていて、保育所と家庭の行き来のみの生活でもしょうがないと思います。

●こども未来部長

年に1、2回でも良いので、顔を知る、知ってもらうために行事に参加するだけでも良いと思います。

●地域の交流に未就学の子どもの参加してほしいのなら、保育所に地域の行事を掲示してはどうですか。

●建設フェスタなどは掲示されていました。

●こども未来部長

市全域が対象となるイベントは良いと思いますが、保育所のある地域と全く違う地域の情報を全て掲示することは難しいかも知れませんね。

●保育所がある地域の情報が貼りだされても行きません。

●こども未来部長

分かりやすいのは、地域にある広報板にチラシを貼ることかと思います。

●幼稚園のお母さんなら良いかもしれませんが、保育所のお母さんはその場所に情報を取りに行くことが難しいです。全否定ではありませんが、小学校に入ってからでも遅くないと思います。

●こども未来部長

どうすれば参加できるか、御意見をいただきたいと思います。

●地域とつながりを持ちたいのですが、情報がないため、機会が持てず入ることができません。改善されると入りやすいです。

●市長室長

皆さんのお子さんはまだ小さいので、一人でいる時間は少ないかと思いますが、小学生になると行動範囲が広がります。子どもたちだけで過ごす時間も成長面で大事だと思います。災害発生時にお子さんが保育所や学校にいれば安全なのでしょうが、そうではない場合はどうするのか。近所の方と顔見知りになって、少しでも気にかけてもらえるような関係を築くことも大事だと思います。大きな災害が起きた際、行政ができることは限られています。そういったことを考えると、御自身のこと、御家族のことを守っていただき、近所の方々が助け合っていくことは絶対にお願ひしなければならぬことです。何らかの形で、地域とのつながりを持っていただくことを皆さんにも考えていただきたいと思います。行政としても情報提供の方法を努力する必要があることを認識しましたので、皆様も情報を得ていただく努力を引き続きお願いしたいです。

●本厚木駅に通勤している人に対して、デジタルサイネージで情報を流すことやバスの広告で掲示してはどうでしょうか。

●市長室長

そのために設置しましたので、最新の情報が常に提供できるよう研究しています。

●コミュニティサイト「厚木が大好き！！」では、5,000~6,000人登録されていて、頻繁に情報が発信されています。

●リアルタイムで、ツイッターなどで情報発信されると良いと思います。

●あゆコロちゃんのフェイスブックがありますが、もうちょっと情報発信をしてもよいのではと思っていました。

●厚木市からだと固いので、あゆコロちゃんが発信しています、という感じで。私は厚木市のメーリングリストを登録しています。

●市長室長

私たちは厚木市というアカウントで情報を出すとすると、どうしても固いものになってしまいますが、皆さんが必要な情報はもっと軽くて身近なものだと思います。台風が接近した時に、ツイッターを使いましたが、たくさんの方に見ていただけました。

●厚木市はたくさん情報を発信されている方だと思いますが、地域のことも発信していただければ参加しやすくなるのではないかと思います。

●教育長

小学校を通して、地域行事の情報を入手されていると話されていました。校長会で調整をしながら学校を通して用意してもらったチラシを配ることもできるかと思います。

●小学校PTAの校外生活委員を務めていました。委員長からは、地域の見守りをしてください、と言われていました。自分もそういったところに入って分かったこともあるので、地域の人との交流や見守りも大切だと感じましたが、未就園児からではなくても、小学生からでも遅くはないかなと思いました。

●近所の方と話をしたいと思いますが、相手がそのことをどう思っているのか分かりません。地域とつながりたい気持ちはありますが、機会がないのでそこを手助けしていただけるようなツール、アイデアがあればと思います。

●子育て支援センターで情報が入手できれば良いのではないのでしょうか。

●駅から遠いところに住んでいる人は、駅の近くには行きません。子育て支援センターは1、2回ほどしか行ったことがありません。主に児童館を利用しています。住んでいる地域によって利用する場所が違うと思います。厚木市内で統一する必要はないと思います。

●児童館で地域の行事のお知らせはありますか。

●口頭であります。

●それは全員に知らされているのでしょうか。初めての人でも教えてもらえるのでしょうか。

●そういったところは情報ツールがあると良いと思います。

●地域で児童館が分かれているのならば、周辺の情報発信をしてもらえると良いのではないのでしょうか。

●土・日曜日は開館しているのでしょうか。

●開館しています。家では買わない高いおもちゃが置いてあります。

●児童館は午前中お日様タイムがあるようですが、いつあるのか分かりにくいです。分かりやすくしていただいた方が行きやすいです。

●こども未来部長

ホームページなどで情報を載せていますので、是非御覧ください。

●社会教育部長

小学校に上がると心配ないと思いますが、年に数回でも地域の行事に参加してもらえればと思います。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●社会教育部長

「家庭での子どもを守る取り組み」というテーマですが、携帯電話やスマートフォン所持の低年齢化が進んでいます。皆さんのお子さんの年齢で持たせるということはないかと思いますが、

情報機器が発達している中で、不安なことなどがありましたらお聴きしたいと思います。

●通話機能だけのキッズ携帯は持たせています。早い子どもは小学校4年生でスマートフォンを持っています。兄弟がいると下の子も持ち始めたり、親が機器を持たせるということもあります。大人でもネットトラブルがあるくらいなので、子どもはもっと心配だと思います。公民館で無料通話アプリの使い方という講習会に参加し、勉強になりました。各方面で講習会をたくさん実施して、情報を得られると良いのではないのでしょうか。

●社会教育部長

家庭内でルールなどを作っていますか。

●プールの監視員をしているのですが、親がそこに子どもが来ていることを知らないことがあります。光化学スモックが出ている日や台風が近づいているのに外で遊んでいる子どもがいて、危ないなと感じています。自分の子どもにはそういう状況にさせたくはありません。そういった場合、スマートフォンなどを子どもが持っているのと連絡できるので安心ではありますが、プールの休み時間にずっとスマートフォンをいじっている子がいます。

●親にどこに行くのか言わず、子どもだけで駅まで遊びに行っていることもあるようです。

●自分たちが子どものときと、遊び方が違うようです。

●持たせるとしてもキッズ携帯です。ただ、小学校でいつまでそれで対応できるのか。周りがスマートフォンを持ちだすとなると、切り替えのタイミングが難しいです。今後の悩みになるかと思えます。

●学校教育部長

キッズ携帯は家族といつでも連絡でき、最近のものではGPSも付いているので、便利な機器ではあります。一方で機器を使用する際の危険を知らないといけません。小学校でも携帯電話の使い方教室を開催しています。保護者の方にもどういった危険があるのかを知っていただく必要があります。機種の変更のタイミングで、機器に余計な機能が付いてしまわなければ心配ないのでしょう。小・中学校では、子どもの機器の持ち込みはさせていません。しかしながら、子どもが機器を持っているということが現状にはあります。機器を持たせる際には、親も知識を持ち、約束を決めることが大事です。子どもに、他の子が持っているから、と言われるかもしれませんが、それは機器を持たせる理由にはなりません。公民館でも講習会があるので参加していただきたいと思えます。

●こども未来部長

これまでの話を聞くと、小学生まではキッズ携帯にする。昼間は持たせているが夜は親が保管する。無料通話アプリは親がチェックをする。保護者の携帯電話を貸す。など、いろいろなルールが各家庭であると紹介されていました。御家庭での工夫などをお話いただき、皆さんの家庭でも参考にできればと考えています。

●子どもの年齢が上がると、親の言うことを聞かなくなることがあると思えます。家庭の状況もあるかと思えますが、例えば厚木市では「使用は夜9時まで」というような指標があれば、親も子どもを教育しやすいと思えます。

●こども未来部長

前にもそのような話が出たことがあり、ある保護者から、全て市にやってもらうのか、という意見が出ました。家庭によっては、情報機器を学習に使っている、家のリビングでのみ使わせて

いるなど、機器の使い方は家庭によって全く違います。市で一律のルールを決めることは難しいと思います。今日は皆さんからそれぞれ御意見をいただきましたが、保育所や小学校など、今度は皆さんから情報発信していただければ良いなと思いました。

先ほどのテーマ、地域のつながりの中でも話題になりましたが、自分や家族の安全のためにどこまで協力ができるのか、相手に全部やってほしい、ということは難しいし、押し付けられたくない方もいらっしゃると思います。私はこれなら協力できる、今後はこんなこともできそうだと、お互いに話し合えるような関係ができれば良いと思っています。

●市長室長

参加者同士で意見が飛び交い、大変中身の濃い話し合いになりました。多くの貴重な意見をいただけたと思っています。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。